

# 能登半島地震 被災者の皆様にお見舞い申し上げます

多くの被災者の皆様が今日でも命の危険にさらされていることに心を痛めます。全国からお見舞いや支援が寄せられていますが、一日も早く電気、水道、道路等が復旧し被災地の皆様が暖かく人間らしい日々を送ることができますようにお祈りいたします。

## 12月定例議会報告

12月定例議会が12月5日から7日の日程で開催されました。議会では一般質問7名、補正予算、条例改正などが審議されました。日本共産党の出浦正夫議員は町民の皆さんの声、寄せられた要請などを踏まえ、「一般質問を行いました」。

### 改定による影響は

国保加入 1810世帯のうち

\*減額になるのは 294世帯

(資産割賦課が無くなることによる)

\*増額になるのは 1511世帯

\*増減なしは 5世帯

### 国民健康保険条例の改定

#### 大幅値上げを提案

#### 払いきれないと悲鳴

12月議会で最大の問題は国民健康保険税の大改訂による大幅値上げ。町長提出の改定案は、県が令和9年度に行うとしている国民健康保険税の統一に合わせるため、令和8年度からの大幅値上げ改定を実施するものです。

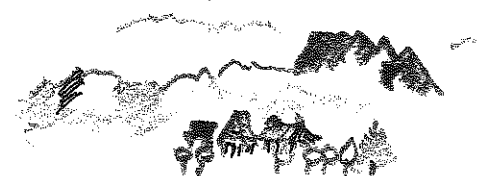
#### 賦課方式 4方式から2方式へ

#### 県提示の「標準保険料率」に合わせるため大幅値上げ

大きな変更点は、賦課方式の変更。これまででは、所得割、資産割、均等割、平等割の4方式でしたが、来年度からは、所得割、均等割の2方式にして埼玉県的方式と一致させるのが狙いです。

これまで小鹿野町では国保会計に一般会計からの繰り入れを行い国保税の高額化を防いできました。小鹿野町では長年にわたり1億円前後の繰り入れを行なってきたが、国は一般会計からの繰り入れを赤字たとして圧力をかけ続けてきました。埼玉県は一般会計からの繰り入れをゼロにするよう年次計画さえ求めてきました。

こうした動きの中で提案されたのが今回の改定です。



### 出浦議員 反対討論

多くの物価が高騰している中で値上げ提案などとてもない。町民のくらしを一層苦しくすると反対討論をおこないました。採決の結果、原案通り賛成多数で可決されました。

## おがの民報 No.51

日本共産党小鹿野町委員会

12月定例議会報告

2024年1月26日(日)

電話 79・0036

## 出浦議員の一般質問

12月議会、出浦議員の一般質問から要約をお知らせいたします。

### 1 高齢者福祉

#### 特に敬老会の開催について質問、75歳以上全員の招待を求める

今年度、敬老会に際して高齢者から招待状が届かなかった等の声が寄せられていましたので質問しました。従前は、75歳以上の高齢者すべてに招待状を出し、2日間にわたり開催していましたが、今年度はコロナの影響もあり、77歳、80歳、90歳、最高齢の男女、金婚を迎えるご夫婦を対象に規模を縮小して開催したとのことでした。

出浦議員は、75歳以上全員を招待し、昼食も準備し楽しい企画をするよう求めました。担当課では、今後の方向として参加者が楽しめ、参加してよかったと思える敬老会が開催できるよう検討していくとの答弁がありました。

### 2 町職員が安心して働ける環境を

#### (1)年度途中の退職防止を

近年、新規採用職員やベテ

ラン職員が年度途中に退職されることがありますのでその状況と対策を質問しました。

担当課によると過去5年間は、新採用者45名中5名が退職、ベテラン職員では18名が退職しているとのことでした。

出浦議員は、町職員に希望をもつてなった方、長年勤められた方が年度途中で退職されるのは残念なので対策を求めました。担当課ではこれまで相談に乗ったりしてきたが、さらに努力して退職防止に努めていくとしました。

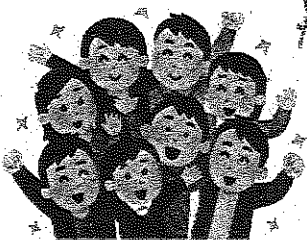


#### (2)障がい者雇用、援助者配置を

共生社会実現のため障害者雇用が法的に義務付けられています。町の雇用状況を伺いました。

町の実雇用率は3,18%で法定雇用率2,6%を上回っているとの回答がありました。

さらに仕事の仕方、内容にも配慮するよう求め、援助者の配置を求めました。担当課では、どんなことが可能か検討するとしていました。



### 3 6月議会に続き

#### 带状疱疹ワクチン接種助成を求める

#### 来年度予算でワクチン接種、半額助成を表明 町長の決断に拍手

带状疱疹ワクチン接種に対する助成制度実現に向け6月議会に続き質問しました。なお、猪野武雄議員も同趣旨の質問を行いました。

6月議会の答弁では、「1市4町で足並みを揃えて接種費用の助成が実施できるよう協議してまいりたい」との答弁でしたが、その後、1市4町で協議した結果、他市町では実施困難との結論に達したとのこと。

そのため小鹿野町単独で助成制度実現を決断。半額助成できる予算措置をすることであります。助成方法は、医療機関の窓口で全額を払い、後で町へ助成申請をする方式です。出浦議員は、町長の決断に賛意を贈ると発言、高く評価しました。

#### 4旧長若中学校校庭、住宅地売却はするな、住民の賛同は得られない それでもやるのですか

賛同者はほとんどいないのにそれでもき地分譲にこだわる様です。やめたほうがいいと言っているのですが。